



第72期

定時株主総会

ニプロ株式会社



事業報告





事業報告 | 企業集団の現況に関する事項

事業の経過 および成果



経済情勢

- 欧米のインフレの鈍化と金利低下
- 貿易摩擦の激化による中国経済の先行き懸念

➤ 地政学的リスクを内包しながらの遷移

日本経済

- 雇用情勢や所得環境の改善
- インバウンド需要の拡大等

➤ 緩やかな回復

- 製造コスト高騰・政策金利引き上げ
- 関税政策への懸念

➤ 先行きは不透明感な状況が続く

ニプログループ

患者さんや医療従事者の方の目線に立脚

医療関連事業

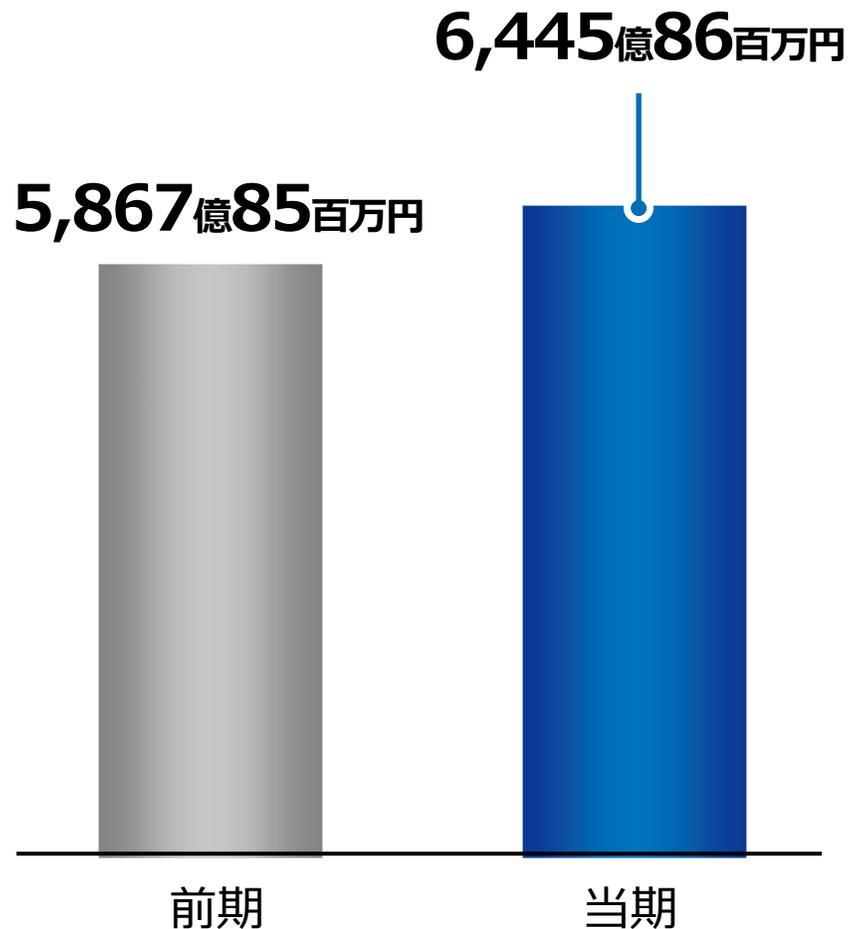
医薬関連事業

ファーマパッケージング事業

それぞれの事業で培った技術やソリューションを
最適な形態で提供

世界中の人々の「健康でありたい」
という願いの実現に注力

連結売上高



6,445億86百万円

前期比
9.9% 増 ▲

- 医療関連、医薬関連、ファーマパッケージング、いずれの事業においても増収 ▲
- 国内市場では、販売価格の適正化に加え、顧客ニーズにきめ細やかに対応したことで出荷量が伸長 ▲
- 新規製造ラインが稼働し生産量、販売増加 ▲
- 海外市場において、重点市場に対し積極的なプロモーションを展開、旺盛な需要 ▲

単体売上高

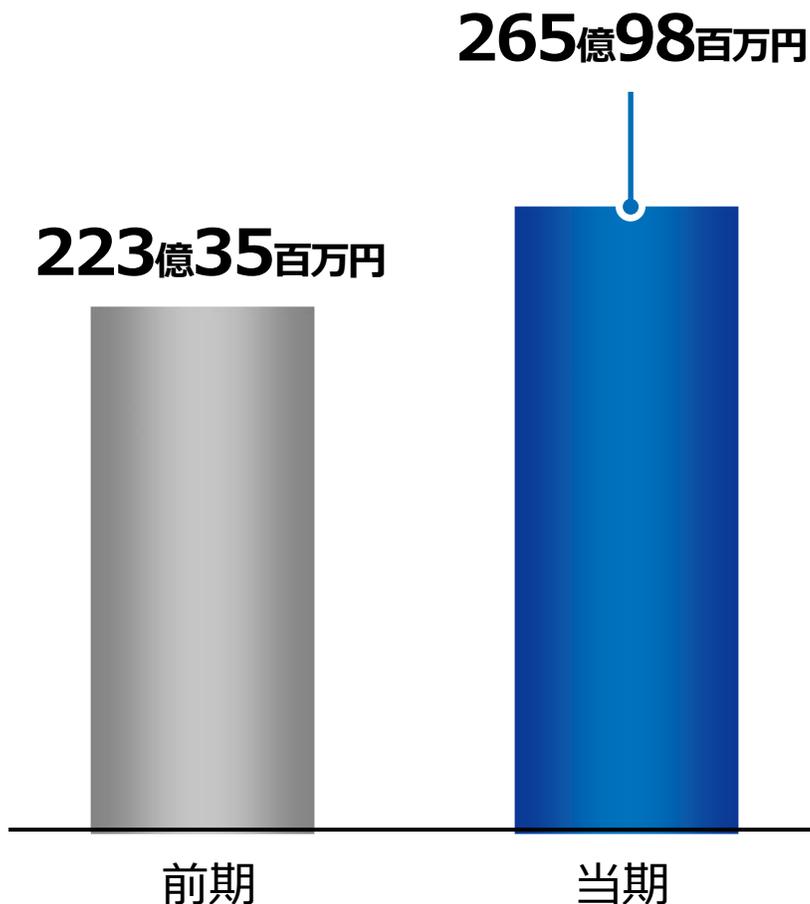
3,935億76百万円

前期比 6.9% 増 ▲

連結営業利益

265億98百万円

前期比
19.1% 増 ▲



- 製造コストの低減や市場の需要を見据えた生産能力の増強にも引き続き尽力 ▲
- ジェネリック医薬品の安定供給体制の強化に向けた製品在庫の確保、販売子会社の統合を控えた準備活動を推進した結果、未実現利益の控除処理や関連費用の計上が発生 ▼
- 運送費の高騰、海外事業拡大に伴う販売拠点の人員増強や関連費用の発生、医薬品製造工場に係る操業準備費用の計上等により、販売費及び一般管理費は増加 ▼

単体営業利益

80億01百万円

前期比 38.9% 増 ▲

連結経常利益

108億17百万円

前期比
44.6% 減

195億9百万円

108億17百万円

前期

当期

- 前期において25億55百万円の為替差益が発生したのに対し、当期は53億81百万円の為替差損を計上
- 支払利息の増加や持分法による投資損失が拡大

単体経常利益

74億66百万円 | 前期比 23.4% 減

親会社株主に帰属する当期純利益

51億13百万円

前期比
54.0% 減 ▼

111億9百万円

51億13百万円

前期

当期

- 複数の海外工場について減損損失や製造所整理に伴う費用の計上増加 ▼
- 減損損失等、税効果を認識できない取引が多かったことから、法人税等の実効税率が大幅な上昇 ▼

単体純利益

188億43百万円

前期比 174.4% 増 ▲



事業報告 | 企業集団の現況に関する事項

セグメント別 の概況



国内事業 メディカル営業部門



注射針類・
輸液関連製品



バスキュラー
関連製品



SD関連製品



透析関連製品

一部製品を出荷制限

好調に進捗

低調な推移

国内事業 医薬営業部門

- 昨年12月に追補収載された新製品のシェア拡大に向けた販売促進
- 長期収載品の選定療養による販売増や一部商品に係る薬価の引き上げが増収に寄与

全体的な薬価改定の影響

ジェネリック医薬品事業再編に伴う
品目整理等の影響

▶ 低調な推移

国際事業

※KOL : Key Opinion Leader。
販売促進に影響力を持つ医師などの専門家のこと。

各国の腎臓医学会への参加を
精力的に進め、KOL※と連携



幅広い透析関連
製品のPRに注力

主要代理店および病院施設

学術活動および技術営業活動



高付加価値製品の
拡大を積極的に推進

国際事業 透析関連製品

米国

大手透析プロバイダーとの大型契約の履行

カナダ・中南米・欧州・
アジア・インド

高性能ダイアライザの上市と増販に尽力

インドネシア

シングルユース市場の拡大

フィリピン

保険償還価格の上昇

タイ

啓蒙活動によりシングルユース施設が増加

ダイアライザおよび透析器械の販売

全世界で堅調に推移

国際事業 透析装置開発

新型個人用透析装置
DIAMAX WOW



中南米
エルサルバドルで上市



透析情報管理システム
NephroFlow



インド国内で
販売を開始



85施設
で採用

国際事業 **ホスピタル関連製品**

ディスポーザブルシリンジ
および注射針の販売

➤ **引き続き好調**

静脈留置針の需要増に伴い、
タイ、インドネシア、ブラジル

➤ **増産を進める**

ディスポーザブル加圧式
医薬品注入器は増産効果
および品種拡大

➤ **欧州・中南米・インドで
販売が伸長**

国際事業 **ホスピタル関連製品**

植込みポート用医薬品注入器具や
針刺し事故防止機構付静脈留置針
などの関連製品

➤ **順次投入**

OEM関連

採血関連製品、糖尿関連製品

➤ **順調に推移し、
販売数の増加**

国際事業 バスキュラー関連製品

主要製品の血管内イメージング
カテーテルの販売が続伸



**NIRS-IVUS装置の
設置国数が30カ国超え**

末梢スコアリングバルーン
Aperta NSE PTAは米国での
品種追加の申請を実施



**本年度第1四半期の
承認取得を見込む**

欧州向けのMDR認可 本年度第3四半期に計画

国際事業 感染対策関連製品

中南米を中心に、KOLと連携
自社セミナーを実施

➤ 感染症対策学会への
出展と販売促進に努める

新たに中南米ホンジュラス、
コスタリカにて販売を開始

➤ 販売地域は既に10カ国

中国の合肥工場において
本年2月から次亜塩素酸水の
希釈化作業を開始

➤ インドネシア、タイ、
ブラジルの工場でも
生産準備を鋭意進める

透析センター事業

➤ 引き続き世界各国で展開

国際事業 生産拠点

ベトナム
工場

- 増改築工事が2024年末に完工
- ダイアライザ生産設備の導入に向けたファシリティ工事が進行中

大館工場

- 2025年度第1四半期にダイアライザ4号ラインの稼働を予定

米国

地産地消プロジェクトを推進

国際事業 ロジスティクス

- 昨年比では比較的落ち着いているものの
欧州線では不安定な状況が継続
 - 中国で新たな倉庫運用に向けた取り組みを加速
-
- グローバルQMS（品質マネジメントシステム）の構築と推進
 - リーガーマニュファクチャラーとしての位置づけを明確化

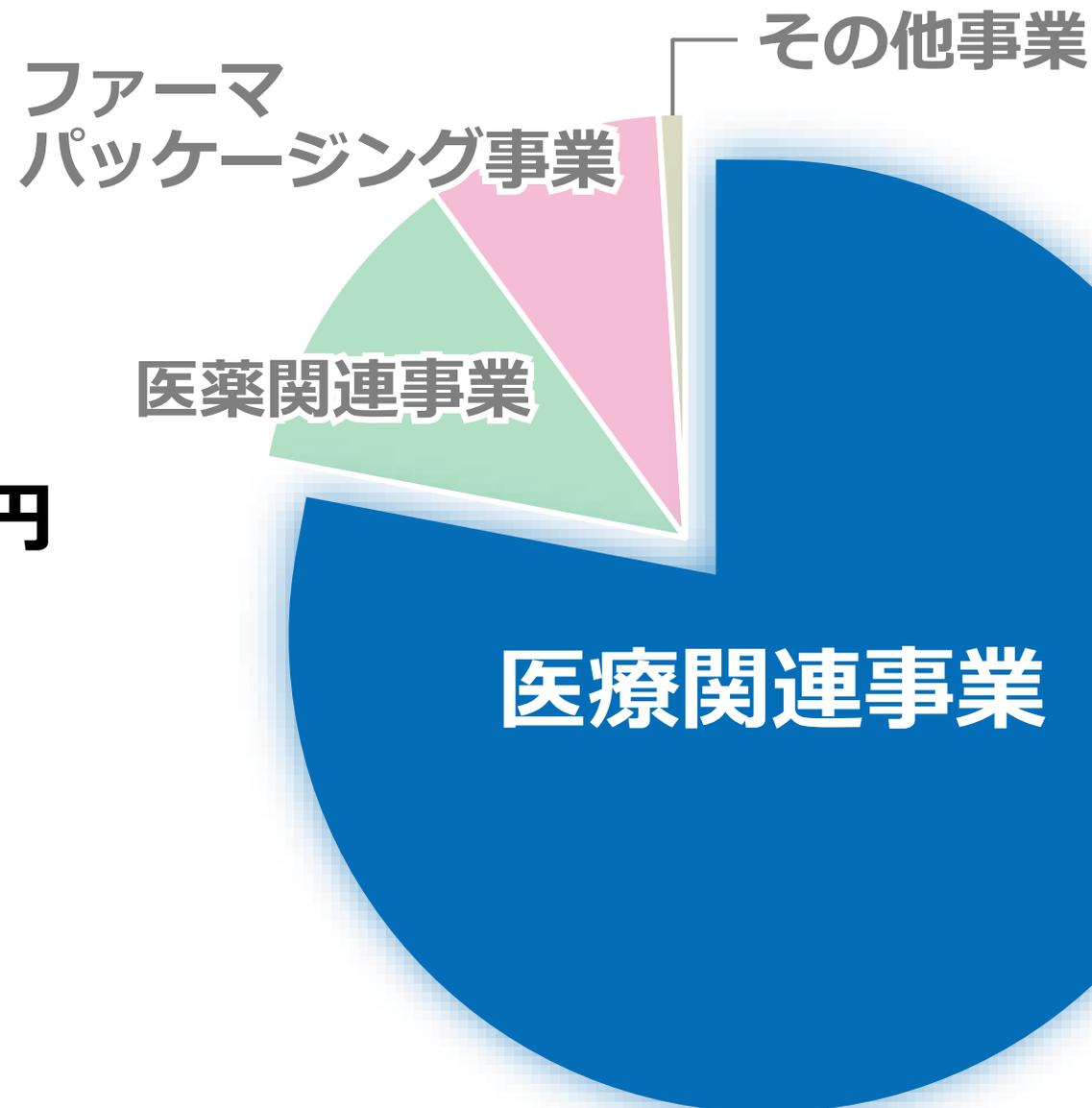
全社的なタスクフォースを発足

医療関連事業

売上高

5,050億78百万円

前期比 11.3% 増 ▲



生産数量の増加が収益拡大に大きく寄与

注射剤

- ニプロファーマ伊勢工場における新規受託品が堅調
➤ 製品出荷数は前期比47%増
- シリンジ棟での基礎的医薬品の大幅増産
➤ 生産数量前期比22%増
- 大館工場では抗菌薬やシリンジ製剤の増産体制を構築
➤ 生産数量前期比13%伸長
- ニプロファーマ・ベトナム・リミテッドにおいても生産効率向上

経口剤

- 長期収載品が減少

- ニプロファーマ鏡石工場
 - ➔ 新規受託品の出荷開始

- 全星薬品工業
 - ➔ 2023年に導入した包装設備が本格稼働

➤ 経口剤全体の
出荷数量は
前期比7%増加

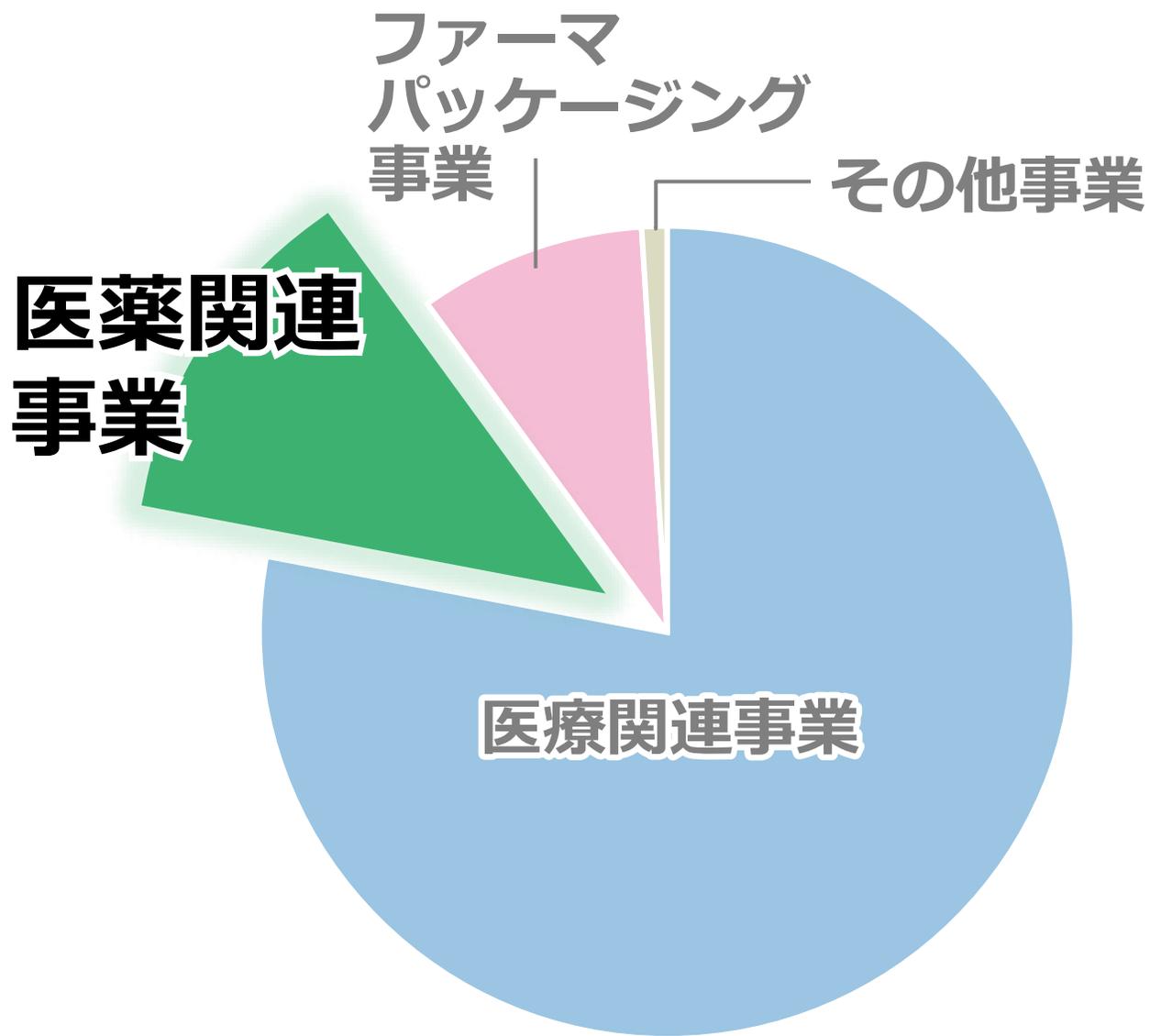
医薬関連事業

売上高

791億25百万円

前期比

6.5% 増 



滅菌済シリンジの
生産体制を整備

グローバル規模での
生産効率改善

海外各地での
プロモーション活動

日本市場

- ガラス関連製品に加え、溶解液注入針やインジェクションセット、プラスチックパーツ等の販売

➤ 増収に寄与

- 製薬会社向けのシングルユース品の開発と販売促進、価格競争力に優れた製品の技術営業を強化

➤ 大きく増収増益

海外市場

- アフターコロナの在庫調整期間が長引いており、ガラス管と医療用包装容器の需要低下
- バイオ製剤向けのガラス製容器や滅菌済Ready to use品の販促
- トレーサビリティシステムなど、付加価値の高い新商品の開発、投与デバイス、調製デバイス

➤ 依然厳しい状況

➤ 重点的に進める

➤ 海外導出にも注力

ファーマパッケージング事業

売上高

592億62百万円

前期比

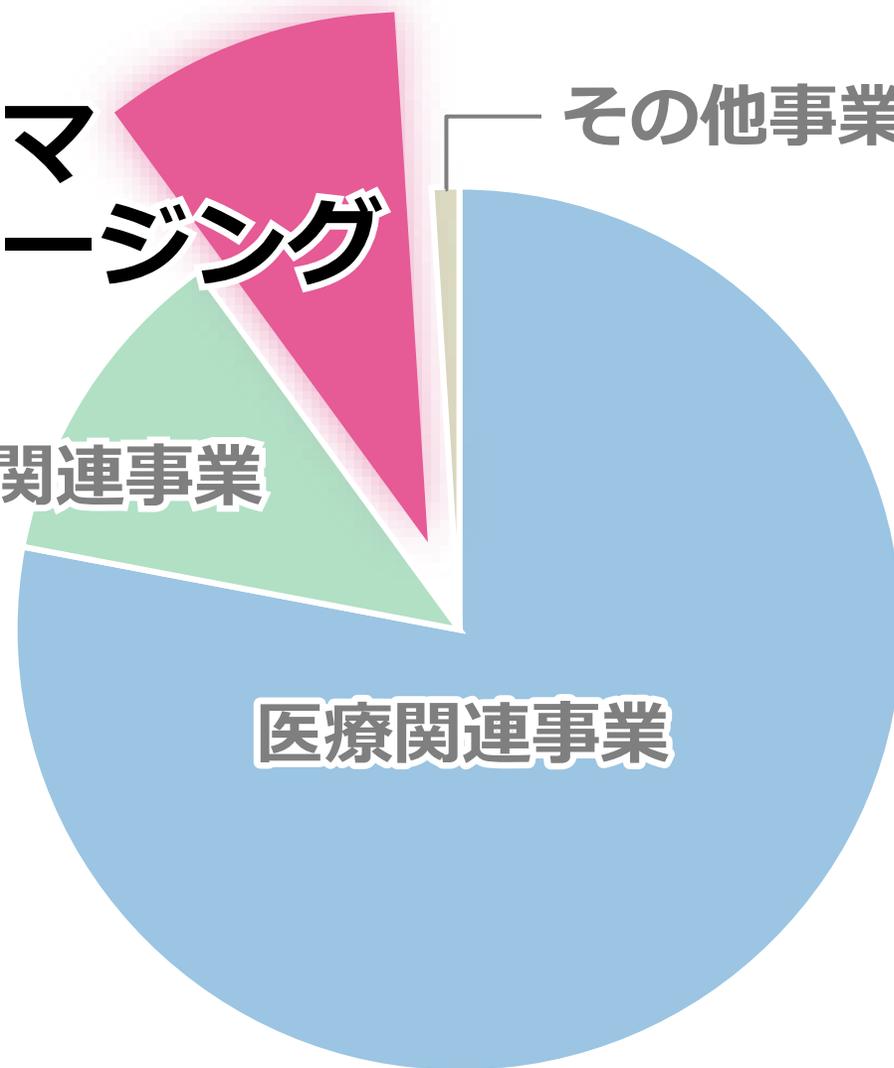
2.1% 増 ▲

ファーマ
パッケージング
事業

医薬関連事業

医療関連事業

その他事業

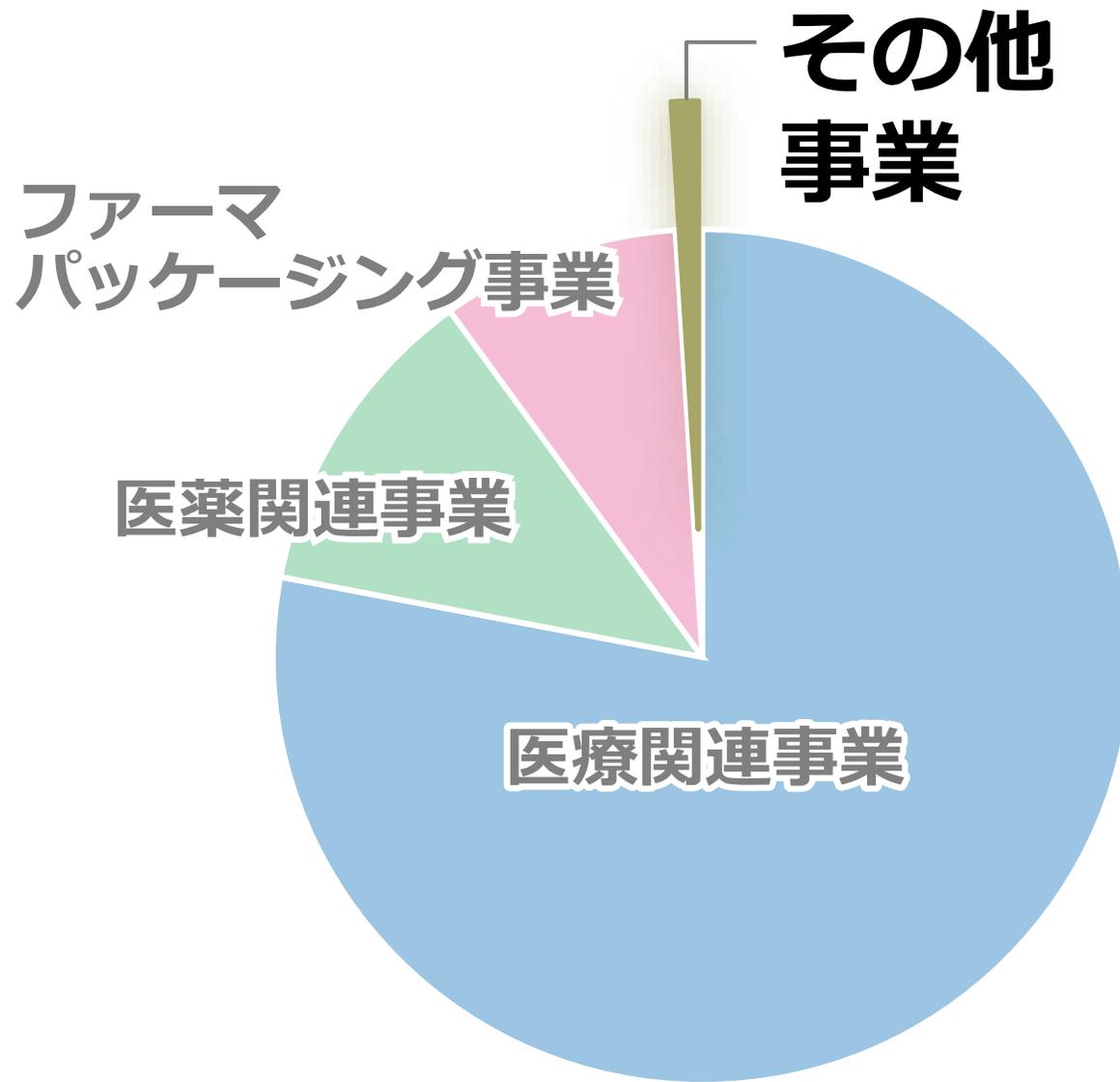


その他事業

売上高

11億19百万円

前期比 **37.1% 増** 





事業報告 | 企業集団の現況に関する事項

設備投資



国内

ニプロ 大館工場

- ▶ **ダイアライザ
製造設備の増設**

ニプロファーマ株式会社 近江工場

- ▶ **注射剤製造工場の建屋
および生産設備**

海外

尼普洛医療器械（合肥）有限公司

- ▶ **ダイアライザラインの設置**

ニプロファーマパッケージングジャーマニーGmbH

- ▶ **滅菌済シリンジ生産設備の増設**

総額

814億95百万円



事業報告 | 企業集団の現況に関する事項

資金調達



ソーシャルローン

570億円を調達

第14回無担保社債

190億円を発行

医療機器・医薬品等の安定供給を通じて、
世界中の人々の健康とQOL向上に貢献



事業報告 | 企業集団の現況に関する事項

対処すべき 課題



メーカー 高品質の製品を安定的に供給することが最大の使命

- 製造コストの急騰、適正価格での供給が困難
- 医療費抑制策は世界的な潮流

課題

- 如何にコスト競争力を確保するか
- 費用対効果に優れた
サプライチェーンマネジメントの構築

品質最優先の社内風土づくりの推進、
品質保証システムの継続的改善

❖ その他の企業集団の現況に関する事項

「財産および損益の状況の推移」 「重要な親会社および子会社の状況」
「主要な事業内容」 「主要な営業所および工場」 「従業員の状況」
「主要な借入先」

❖ 会社の株式に関する事項

❖ 会社の新株予約権等に関する事項

❖ 会社役員に関する事項

❖ 会計監査人の状況

上記については当社ウェブサイトに掲載した招集ご通知に記載のとおりです

https://www.nipro.co.jp/assets/document/ir_stock/meeting_72nd/notice.pdf#page=36



連結計算書類





連結 貸借対照表

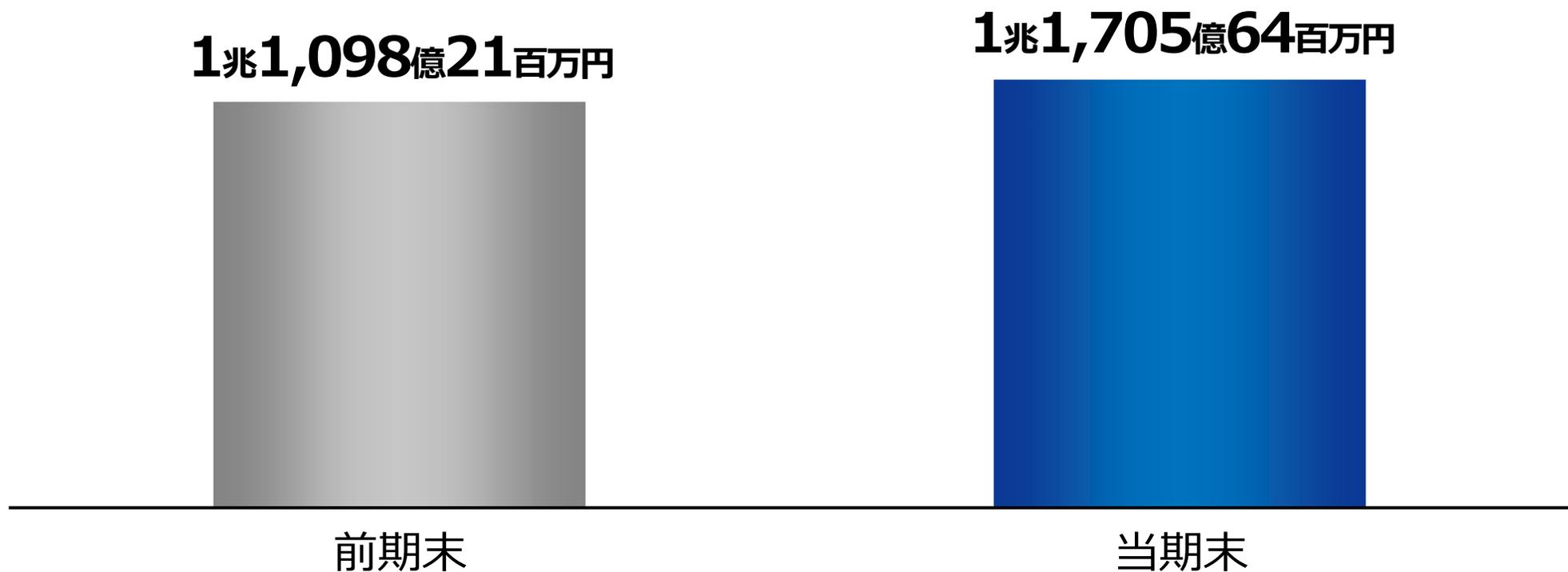


資産合計

1兆1,705億64百万円

前期末比

607億42百万円増加 ▲



流動資産

5,744億18百万円

前期末比

502億52百万円増加 ▲

5,241億66百万円

5,744億18百万円



前期末



当期末

増加要因

商品及び製品

204億65百万円

増加 ▲

固定資産

5,961億45百万円

前期末比

104億9千万円増加 ▲

5,856億55百万円

5,961億45百万円



前期末



当期末

増加要因

機械装置及び運搬具

139億75百万円

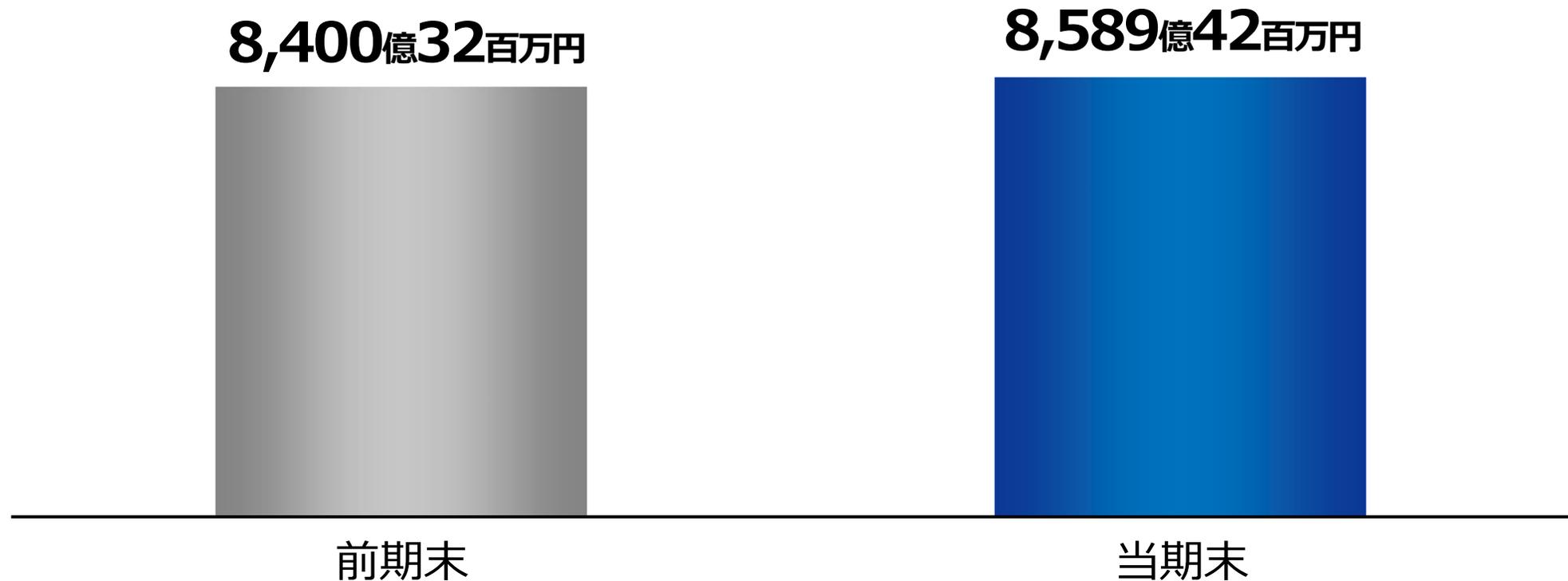
増加 ▲

負債合計

8,589億42百万円

前期末比

189億1千万円増加 ▲



流動負債

3,505億45百万円

前期末比

159億2千9百万円減少

3,664億75百万円

3,505億45百万円



前期末



当期末

減少要因

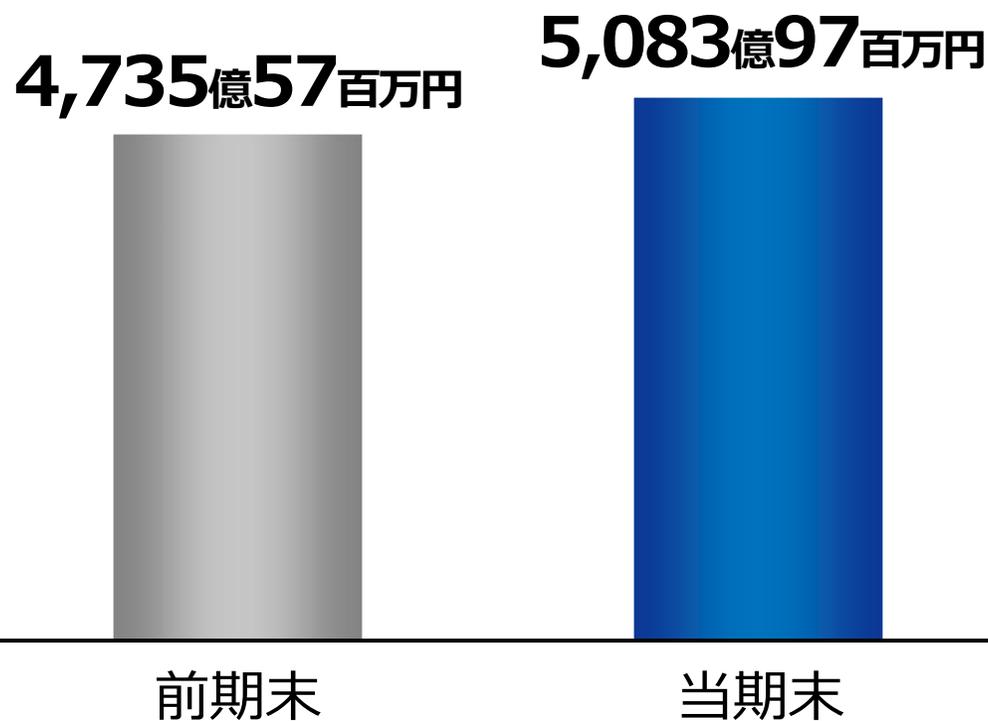
コマーシャル・ペーパー
200億円
減少

固定負債

5,083億97百万円

前期末比

348億3千9百万円増加 



増加要因

社債

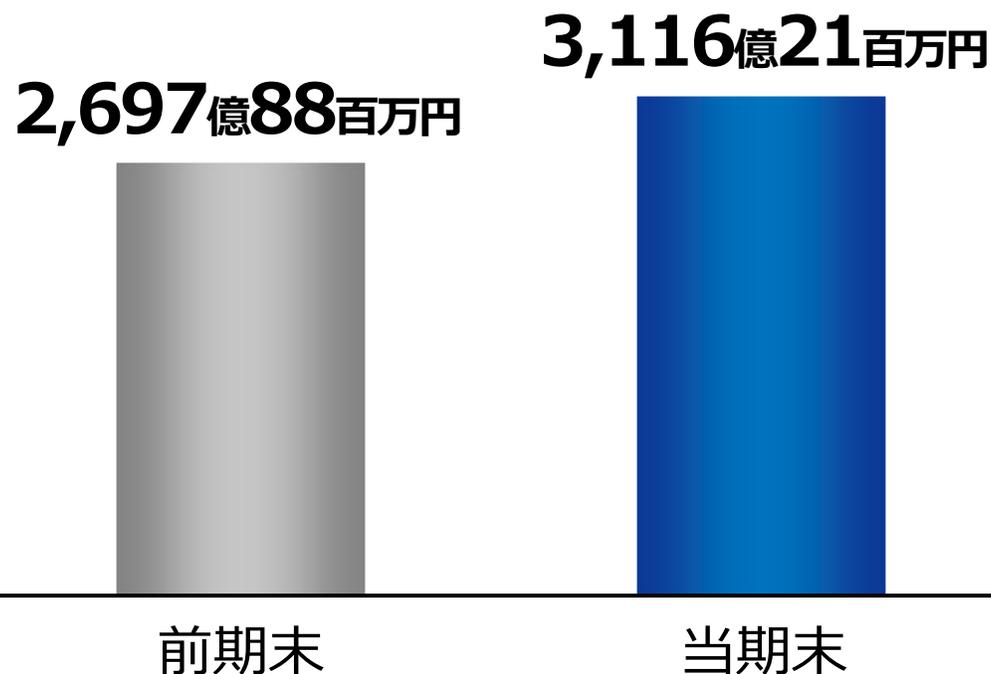
210億円
増加 

純資産合計

3,116億21百万円

前期末比

418億32百万円増加 ▲



増加要因

株主資本

4億60百万円増加 ▲

その他の包括利益累計額

193億15百万円増加 ▲



連結 損益計算書

事業の経過および成果に
記載のとおりです



計算書類

当社ウェブサイト掲載の招集ご通知および
招集ご通知に際しての電子提供措置事項に記載のとおりです

https://www.nipro.co.jp/assets/document/ir_stock/meeting_72nd/notice.pdf#page=52

https://www.nipro.co.jp/assets/document/ir_stock/meeting_72nd/electronic_provision.pdf

招集ご通知に際しての電子提供措置事項

- ❖ 事業報告の業務の適正を確保するための体制および当該体制の運用状況の概要
- ❖ 連結計算書類の連結株主資本等変動計算書
- ❖ 連結計算書類の連結注記表
- ❖ 計算書類の株主資本等変動計算書
- ❖ 計算書類の個別注記表

当社ウェブサイトに掲載のとおりです

https://www.nipro.co.jp/assets/document/ir_stock/meeting_72nd/electronic_provision.pdf

会計監査人および監査役会の 連結計算書類監査結果報告

当社ウェブサイト掲載の招集ご通知に記載のとおりです

https://www.nipro.co.jp/assets/document/ir_stock/meeting_72nd/notice.pdf#page=54